

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>	フランス語II B F2154 Intermediate French B				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 坂井 礼文			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期	曜時限	月2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向	

### [授業の概要・目的]

#### フランス文化

この授業では、『フランス、地方を巡る旅』(2017年)を用いて、フランスの地方ごとの特色を学んでいく。以前はフランスの地方は27あったが、2015年の領土改革により、地域圏の数がフランス本土13、海外領土5になり、半期の授業で全てを扱うことが可能となった。パリとイル・ド・フランスについては、この教材では触れられていないため、時間があれば、パリ周辺で撮影された動画をDVDで鑑賞することにより、首都の文化も紹介したい。

より具体的に書けば、フランス各地の地理的特徴、産業、郷土料理などを取り上げていくことで、フランス国内の多様性について理解を深めていく。その際に、担当教員自身の旅先での体験談も折に触れて語ることで、単調な授業にならないように心がけたい。

また、教科書の各課の最後に付いている文法の練習問題を解くことで、文法に関する知識も増やしていく。

### [到達目標]

- ・フランス語で文章を読む力を向上させる
- ・初級の授業で学んだフランス語の文法知識を深める
- ・音声を繰り返し聞くことで、フランス語の発音を聞き取り、自分でも正しく発声できるようになる

### [授業計画と内容]

以下のように、基本的に1回の授業で、教科書の1課を終えることを目安とするが、受講者のレベルに応じて、講義のスピードを速めたり、遅くしたりすることもある。必要であれば、補助教材を用いることも想定している。

- 第1回「イントロダクション」
- 第2回「第1課 ブルターニュ」
- 第3回「第2課 ノルマンディー」
- 第4回「第3課 オー＝ド＝フランス」
- 第5回「第4課 グラン＝テスト」
- 第6回「第5課 ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ」
- 第7回「第6課 オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ」
- 第8回「第7課 プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュールおよびコルス」
- 第9回「第8課 オキシタニー」
- 第10回「第9課 ヌーヴェル・アキテーヌ」
- 第11回「第10課 ペイ・ド・ラ・ロワール」
- 第12回「第11課 サントル＝ヴァル・ド・ロワール」
- 第13回「第12課 海外県」

----- フランス語II B F2154(2)へ続く -----

## フランス語II B F2154(2)

第14回 「レクリエーション（教科書の巻末に付属の練習問題）」  
第15回 フィードバック（フィードバック方法は別途指示する）

### 【履修要件】

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

### 【成績評価の方法・観点】

平常点は、出席状況・授業態度・予習の有無に基づいて、20%を目安として付ける。加えて、期末テストの結果を80%として計算し、成績を算出する。

### 【教科書】

ファビエンヌ・ギユマン 『フランス、地方を巡る旅』（駿河台出版社）

### 【授業外学修（予習・復習）等】

授業の前に各課の予習をしておくこと。その際に、文中に出てくる動詞の原形と時制も確認しておく。自分が担当していない箇所でも、あらかじめ読んでおく。

可能であれば、音声CDを購入、あるいは音声をダウンロードして、予習と復習の際にシャドウイングを行なう。

### 【その他（オフィスアワー等）】

### 【主要授業科目（学部・学科名）】